



埼玉医科大学 総合医療センターニュース

SAITAMA MEDICAL CENTER NEWS

NO. **40** 2015 August



CONTENTS

- ご紹介
メンタルクリニック 吉益 晴夫 P-1
- お知らせ
イベント案内の掲示板利用について 診療サービス委員会 P-3
総務部 P-3
- 看護師募集
ご紹介
麻酔科 小山 薫 P-4
- トピックス
平成27年度 前期消防訓練実施! ... 防災センター P-5
2015 サマーコンサート ... 診療サービス委員会 P-6
- 検査一口メモ
尿(おしっこ)検査とは? 中央検査部 P-7
- 教室シリーズ
糖尿病教室 内分泌・糖尿病内科 P-8
- 連載
血管撮影検査 中央放射線部 P-9
- トピックス
埼玉医科大学総合医療センター 管理棟セレモニー開催について 施設課 P-10
- ご紹介
管理棟カフェテリアのご紹介 ウェルフェア P-11
- お知らせ
駐車場の有料化について 総務課 P-12
外来受診について/面会者へのお願い P-13

社小江戸川越観光協会



基本理念

安全で質の高い医療を提供し、
地域から信頼される医療機関を目指します。

メンタルクリニック

教授 吉益 晴夫

当院の神経精神科は、メンタルクリニックと呼ばれています。病院によって呼び方は異なりますが、こころの診療科、メンタルケア科なども、精神科医が登場するという点では同じです。精神科病棟はありませんので、外来だけの診療になります。病院内ではリエゾンという業務に力を入れています。リエゾンとはフランス語で「つなげる」という意味です。他の診療科の依頼により、精神面の診療を行うとともに、診療科と診療科の間を、医師と看護師など病院内の多くの職種の間を、そして、患者・家族と病院や地域との間を「つなげる」ことも大切な仕事です。メンタルクリニックでは、高度救命救急センターに入院した患者の精神的な対応、総合周産期母子医療センターと連携して出産前後の対応、糖尿病や腎疾患など慢性疾患を抱える方の援助など、幅広く診療をおこない、地域の皆様の役に立つ診療科をめざします。

どのような疾患があるのか

メンタルクリニックで診療する疾患は、うつ病、双極性障害（躁うつ病）、統合失調症、認知症、高次脳機能障害、発達障害、注意欠陥多動性障害、アルコール依存症、薬物依存症、パニック障害、摂食障害、解離性障害、強迫性障害、心的外傷後ストレス障害、適応障害、身体表現性障害など多岐に渡ります。いくつかの病気に関しては、脳のどの場所が関与しているのか、そこでどの化学物質（セロトニンやドパミンなど）が関係しているのか、徐々に解明されています。しかし、大部分の精神疾患には、診断の決め手となり、実際の診療場面で使用できる、血液検査や画像検査がないことも現状です。従って、いろいろな角度から、詳しくお話をうかがい、症状やその時間経過を診断基準に当てはめることにより、ある病気であることが確からしいというように判断します。経過は、患者さんに尋ねることが基本ですが、ご本人が混乱していて上手に説明できない場合、病気の自覚が少ない場合、記憶がはっきりしない場合などは、ご家族からの情報も大切です。ご本人が強く拒否される場合を除いて、ぜひ一緒に受診してください。ご家族の立場からストーリーを話してくださると大変参考になります。精神医学は、医学の中ではまだまだ発展途上の領域であり（伸び代が大きいとも言えますが）、診断の場面でも、患者さんやご家族の協力が不可欠です。

診療の予約は必要か

メンタルクリニックを受診する際には、予約が必要です。時間を確保して適切な診療を行うためですので、ご理解ください。予約は、祝日を除く平日の15時から17時の間に、メンタルクリニック外来049-228-3605（直通）までご連絡ください。予約していた日に受診できなくなった場合には、早めに予約のキャンセルをお願いします。

すでに、他の病院の精神科で治療中の方は、診療情報提供書を貰ってから受診ください。治療の経過が分からないと判断ができないことがあります。また、内科など精神科以外の医師に勧められた場合にも、診療情報提供書を貰って受診ください。当院の別の診療科の医師から依頼の場合には、電子カルテ内に診察依頼書を作成することになっています。予約は、診療情報提供書または診察依頼書のある方が優先になります。診療情報提供書の無い方も受診できますが、特別療養費という追加費用がかかります。これらのことは医療機関が地域の中で役割分担し、機能を果たすために必要なことですので、ご協力をお願いいたします。メンタルクリニックを受診すると、どのような診察を受けるのか知りたいという声をうかがいます。次に典型的な流れをご説明します。

どのような診察を受けるのか

初診予約日は、総合受付で初診手続きをすませた後に、メンタルクリニック受付にお越しください。メンタルクリニックは1階の北側の静かな一角にあります。

はじめに、研修医または学生が経過をうかがいます。これを予診と呼んでいます。予診では、診断の参考にするために、生まれてからの生活（幼少期の発育、学歴、職歴など）、家族（親、兄弟、子どもなど）の構成や健康状態、受診された方の過去の体の病気、そして、今回お困りの症状の経過（いつ頃からどのような症状があるのか）をお尋ねします。また、症状によっては簡単な心理検査（記憶を見るものなど）を行うことがあります。（曜日や状況によっては予診を行わないことがあります）

予診の後で精神科医師による診察が行われます。診察の結果、服薬の必要があれば処方箋を作成し、次回の診察が必要であれば予約を入れます。処方箋は院外処方箋ですので、かかりつけの薬局で薬を購入できます。服薬にあたって、肝機能や心機能のチェックをするために、血液検査や心電図検査を行

うことがあります。また、入院治療が必要な場合には、入院設備のある病院での治療をお願いすることがあります。初診日の診察は、数時間から半日ほどかかります。時間には余裕を持って受診してください。

医師の診察は健康保険の適応になります。通常は医療費の3割が患者負担となります。臨床心理士による、認知行動療法やEMDRなどの治療には健康保険が効きませんので、1回4000円（+消費税）の料金は全て患者負担となります。

学生教育

メンタルクリニックは大学病院でもありますので、埼玉医科大学などの学生教育も担当しています。また、病院の初期研修医は、2年間の研修の間に、多くの診療科を回って、医師として基本的な研修をおこないます。メンタルクリニックでの実習や研修を通して、福祉や心理にも気配りのできる人材を育てることは、広く求められていることであり、多くの初期研修医は、メンタルクリニックを選択科目として選んでいます。患者さんやご家族の皆様には、学生や初期研修医が診療の一端を担うことについて、御理解をお願いいたします。もちろん、最終的な診断や治療は、精神科を専門とする医師が行います

地域との連携

メンタルクリニックでは地域の医療機関との連携を推進しています。大学病院である当院には、近隣の精神科の病院やクリニックからの紹介ばかりでなく、地域の病院や診療所（内科、脳外科、神経内科、産婦人科など）の紹介も多くあります。当院当科では、より専門性の高い診療を行うために、専門外来を充実させていく方向です。

当院のメンタルクリニックで対応していない治療は、アルコール依存症や薬物依存症に対する教育プログラム、うつ病や双極性障害に対する復職プログラム（リ・ワークプログラム）、統合失調症に対する精神科リハビリプログラム、電気けいれん療法などです。入院病棟がないために、入院治療にも対応していません。

症状がある程度落ち着いた時点での継続治療については、居住地や職場に近いクリニックや診療所での治療をお願いする場合があります。その場合には、診療情報提供書を作成しますのでご安心ください。

治療への参加を

メンタルクリニックでは、医師による薬物療法と臨床心理士による心理療法が主な治療となります。薬物療法を中心に行うことが多いですが、薬物療法と心理療法を併用することもしばしばあります。主

に心理療法を行うこともあります。どのような治療が適切かは、初診を担当する医師も判断しますが、イメージしている治療法などがあれば、遠慮なくお伝えください。「薬はできれば飲みたくない」、「薬の力を積極的に借りて早く治したい」、「テレビでみた認知行動療法を受けてみたい」など、ご希望は可能なものは取り入れて治療を行います。どうしても不可能なときにはそのようにお伝えします。

薬を服用された場合は、診察の際に効果や副作用の報告をお願いします。どちらも主観的な部分が大きく、診察室で会っただけでは分からないことがあるからです。最近の精神薬は副作用が少なくなっていますが、体質によっては不都合が生じます。どの副作用が生じるかは服薬してみないと分からないことがあります。体質に合う薬を探しましょう。効き目が同じでも、薬によって副作用が異なることがあるためです。

薬によっては、水なしで服用し口の中で溶ける錠剤（口腔内崩壊錠）や1回分がパックされた液体の薬（液剤）があります。同じ薬でも眠気が出る人は夕食後、目がさえる人は朝食後と、服用する時間を使い分けます。服薬の回数も薬によっては相談の余地があります。1日1回を好む方も、毎食後に服用したほうが安心する方もあり、可能な範囲内で要望に添うようにしています。

薬は通常は少量から始めて、副作用がないことを確認しながら徐々に増量します。これは精神薬の一般的な使い方です。薬が増えても驚かないでください。また、効果の出現はゆっくりで、通常は数週間かかります。このあたりの時間感覚は、痛み止めとは違います。服薬してすぐに改善しなくてもあきらめないでください。

心理療法も副作用がないわけではありません。負荷がかかった結果、症状が一時的に悪化することもあります。一方、一時的に悪化しても、それを乗り越えて改善することがあります。治療を開始する症状やタイミングについて、慎重に相談していきます。

治療の経過で、病院を変わりたいとき、または、他の病院でセカンドオピニオンを受けたい場合もあると思います。そのようなときは遠慮なく担当医にお申し付けください。診療情報提供書を作成いたします。

メンタルクリニックのスタッフ

メンタルクリニックの常勤は、精神科医師が6名と臨床心理士が2名です。また、3名の非常勤精神科医師と2名の非常勤臨床心理士が外来診療を行っています（平成27年4月現在）。外来看護師のうち1名は、精神科専門看護師です。メンタルクリニッ

クは、精神科医師、臨床心理士、精神科（専門）看護師、社会福祉士、薬剤師、医務課職員など多くの職種が関与し運営されていることが特徴です。病院の基本理念である、「地域から信頼される医療機関」を目指しますので、どうぞよろしくお願いいたします。メンタルクリニックについて詳しく知りたい方は、ホームページもご覧ください。

(<http://www.saitama-mentalclinic.com>)



イベント案内の掲示板利用について

診療サービス委員会

当院では、施設内で多くのイベントを開催しております。しかし当日のイベント情報をご案内する決められた場所がありませんでした。診療サービス委員会では、当日行われるイベントに、多くの患者さんやそのご家族、外部医療関係者の方々に参加していただくと思い、当日開催されるイベント情報を掲示する案内板を、正面玄関中央に設けました。是非多くの皆様に掲示板を活用していただき、イベントに情報を提供していきたいと思っております。



看護師募集

総務部



看護師募集中!!

最も環境の整った大学病院で、
地域に密着した高度な医療に貢献しませんか。

※病院見学、インターンシップ、いつでも大歓迎!! Facebookも更新します!
詳しくはQRコードより

看護師求人ホームページ <http://www.saitama-med.ac.jp/hospital/nurse>

看護部 Facebook ページ <https://www.facebook.com/smu.nurse>

埼玉医科大学 総務部 人事課 ☎ 0120-61-1181 TEL: 携帯の方 049-276-1115

SAITAMA MEDICAL UNIVERSITY

麻酔科

教授 小山 薫

埼玉医科大学総合医療センターは高度救命急センター、総合周産期母子医療センター、ドクターヘリ基地病院の3つを併せ持つ、全国でも有数の大学病院であり、地域の基幹病院として地域医療に大きく貢献しています。麻酔科も病院の機能に合わせて“進化”してきました。

当院麻酔科は、手術室麻酔部門、集中治療室（ICU）部門、ペインクリニック部門、周産期センター産科麻酔部門の4本柱からなり、麻酔科学会、集中治療医学会、ペインクリニック学会、心臓血管麻酔学会の専門医研修認定施設となっています。その他、ドクターヘリ・フライトドクターでの救急医療、心肺蘇生講習会定期開催など、麻酔科の関与しうる、おおよそ全ての分野をカバーしているのが最大の特徴です。

手術室では、単純な局所浸潤麻酔を除いた年間6000例程の手術症例（手術件数の約8割）の麻酔管理を麻酔科医が行っています。全身麻酔以外の腰椎麻酔、超音波ガイド下神経ブロックなども麻酔科医が行います。経食道心臓超音波モニター、動脈圧波形からの心拍出量モニター、中心静脈血酸素飽和度モニターなど最新のモニターと同時に、＜診る聴く触る＞といった五感も駆使、手術中の安全な全身管理を担当しています。

4階中央手術室に隣接して集中治療室があります。年間入室症例は760例程で、内訳としては大きな手術の後の重症例が多いですが、内科系の重症例も適宜受け入れています。呼吸管理、循環管理、疼痛管理などは麻酔科の専門分野であり、関係科医師、ICU看護師、薬剤師、臨床工学技士らとのチームで、質の高い集中治療を行っています。

ペインクリニックでは、総合医療センターのみならず、かわごえクリニックでの痛みの治療を行っています。神経ブロック注射などの西洋医学的手技に加え、東洋医学の先生とも協力して痛みのトータルケアを目指しています。

産科麻酔部門では、産科麻酔専従の麻酔科医を有し、帝王切開術の麻酔、無痛分娩、妊娠中の分娩以外の手術の麻酔、採卵の麻酔、胎児検査および治療の麻酔、新生児手術の麻酔管理など、周産期を通じたフルタイムの治療に携わっています。2012年度からは産科麻酔フェローシップ制度も導入、全国から産科麻酔を研修希望の先生を受け入れています。

このように幅広い分野での全身管理を担当してい

ますが、臨床のみならず、将来を担う医学生や研修医の教育、学会活動等の研究にも力を注ぎ、最新の知見に基づいた安全で質の高い医療を提供すべく麻酔科医局員一同で頑張っています。



2015年麻酔科同窓会



3Dエコー勉強会



医局でのスナップ

平成27年度 前期消防訓練実施！

防災センター 参事 日向 弘

『**火事だー！火事だー！**』 総合医療センター5階中央病棟、柳林看護師の大きな叫び声から、平成27年度前期消防訓練が開始されました。訓練は、平成27年6月12日(金)午後2時～4時川越消防局職員指導の下、「安全管理」に注意しながら実施しました。

今回も昨年同様に夜間を想定し、少数の当直勤務者が協力し、火災の通報・初期消火及び入院患者の避難誘導を安全確実、且つ迅速に出来るかを検証した訓練でした。特に、今回の訓練には、複数の当直医師に参加いただき、入院患者の搬送や屋内消火栓による初期消火等にも携わって頂きました。全体的には、当直看護師長(5階中央病棟「今溝看護師長」)の指揮の下、少数の職員が協力し入院患者を短時間で安全な場所に避難させることが出来ました。



【当直看護師長(今溝)が、火災発生の連絡を受け、急いで状況確認のため、出火場所へ急行する。】



【米川看護主任が防災センターへ火災通報を行っている。また、この通報を警備員(セコム)が受信し非常用放送設備により一斉放送を実施する】【また、通報と並行

し初期消火を当直医師と看護師が実施している状況】



【5階中央病棟に入院している、自力避難困難者を、一斉放送により駆けつけて来た、当直医師・看護師及び当直事務職員が一丸となって、ベット・車イス、更には簡易担架を活用して、安全な場所へ搬送している状況】



【次回開催病棟、5階東病棟佐藤看護師長の訓練所見の発表また、管理部門から事務部長津久井次長からの訓練状況の所見】



【斉藤看護部長による訓練状況の講評、つづいて防火防災管理者であります、事務部長諸田一雄氏から消防訓練に協力をして頂いた川越地区消防局職員の皆様にお礼の挨拶がございました。】

今後も、総合医療センターでは、患者さんの安全安心を第一に、消防訓練を定期的に行ってまいりますので、皆様の深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

2015 サマーコンサート

診療サービス委員会



司会を務めさせていただきありがとうございました。司会をやるに当たり、少しでも演奏者さんの力になれるか不安もありましたが、演奏が始まると患者さんもコンサートの雰囲気を楽しんでいるようでした。

普段、僕たちは遠くから演奏を聴いているだけでしたが、今回、司会という立場で演奏を一番の特等席で聞くこともできました。目の前で演奏を聞くことで、迫力と臨場感を味わう事ができ、スタッフとしてではなく、観客として聴き入ってしまいました。バイオリン、ピアノ、サクソ演奏があり、患者さんも自然と口ずさんだり、手拍子をしていた場面を見ると楽しんでいただけたのかと思います。

司会を務めさせていただいたご縁もあり、今回のサマーコンサートには高度救命救急センターから多くの患者さんに聞いて頂くことができました。重症度の高い患者さんが多い中、スタッフ同士の連携そして患者さんの協力なしでは実現できないことでした。処置が多く、面会時間も少なく、閉鎖的空間で過ごす時間の多い患者さんに、少しでも楽しい気分を味わって頂いたように思います。コンサート後に出席された患者さんにお話を伺ったところ、「とても感動した。」「非常にきれいな演奏でした。」と感想も聞くことができました。

今回のコンサートを通して、今後もコンサートの際には高度救命救急センターのスタッフの協力のも

と多くの患者さんに聞いて頂き、患者さんの笑顔を増やしていけるように関わっていきたくと思います。また定期的に行われる素晴らしいコンサートの存在をもっとたくさんの皆さんに知っていただきたいと思いました。

今回のコンサートはいつも以上に患者さんや家族の方に聴いて頂き、たくさんの方の笑顔を見ることで改めて音楽の素晴らしさ、音楽が患者さんに与える影響を感じることができました。

最後にサマーコンサート開催にあたり、運営にご尽力頂いた診療サービス委員会の皆様に感謝申し上げます。また機会があれば参加させていただきたいと思います。



高度救命救急センター
福島 聡
佐藤和哉

尿（おしっこ）検査とは？

中央検査部

あまり気にせず排泄している尿ですが、その成分は血液の成分をある程度反映するため、尿に何が含まれているかを調べることで、健康状態の確認ができます。色、ニオイなどは自分でもチェックでき、とても身近な、また大切な体のバロメーターです。

《どのように検査をするの？》

簡単な方法としては“試験紙”を用います。

試験薬を含んだカラフルな試験紙を尿に浸して色の変化を見ます。



代表的な検査項目として

- ◎たんぱく：激しい運動後や発熱などで、一時的に検出されることもあります。続くようなら腎臓の病気が考えられます
- ◎ブドウ糖：糖尿病の指標のひとつです
- ◎潜血(センケツ)：腎炎や結石、腎・泌尿器系の腫瘍などによる出血が考えられます

《どんなことがわかるの？》

- ◎おしっこをつくる腎臓やその排泄通路である尿路系の病気(腎炎、腎不全、尿路結石、ガンなど)
- ◎糖尿病
- ◎肝臓の機能障害(黄疸など)
- ◎全身状態
- ◎妊娠判定(赤ちゃんができたこともわかります！)

検査技師からのプチ情報

おしっこの色

- ◇健康な時は淡黄色～麦黄色ですが、服用しているお薬や食品の影響で変わることがあります。



講師：検査技師くん



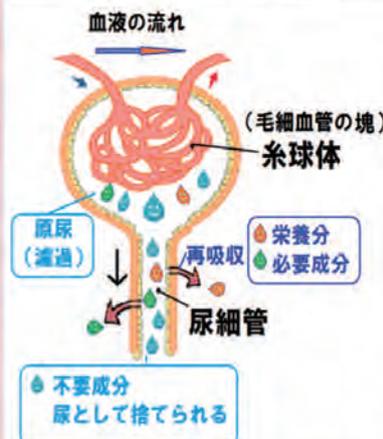
ところでコーヒーを飲むとおしっこをしたくなるのはどうして…？

⇒ ★印みてね

～そもそもおしっこって？～

おしっこは血液からできています。そしてそのおしっこを作っている工場が腎臓です。この腎臓の中で最初に仕事をするのが糸球体という場所です。ここで大雑把に血液の成分を“ふるい”にかけます。不要な老廃物だけでなく、体に必要なものも、こし出していますが、次の腎盂という場所に行くまでの通路(尿細管)で必要なものを再び血液の中に取り込みます(再吸収)。腎(工場)で不要なものを効率的に除くため、糸球体と尿細管で分業しています。

ここで再吸収されなかった、本当に体に必要のないものが、おしっこです。おしっこは、腎盂から尿管を通過して膀胱にたまり、体の外に出されます。



★
コーヒーに含まれるカフェインの血管拡張作用により全体的に血管が拡張し、腎(糸球体)を通過する血液量が増加する

↓
濾過される血液量(原尿)も増加する

↓
結果、排尿される尿量が増加しておしっこが近くなる

腎臓の動きが弱っていると、体に再吸収すべき、さまざまな栄養素までおしっこの中に混じって出てしまいます。また、体に残してはいけない不必要物を除去できず、おしっことして捨てられないこともあります。おしっこを調べると、腎臓がしっかり健康に働いているかがわかるのです。

今までおしっこなんて…と思っていた方、おしっこの大切さを見直して、きちんと確認するようにしましょうネ！！



～尿検査で気をつけることは？～

◇検査前日に

- ・ビタミン剤
 - ・ドリンク剤(特にビタミンCが多量に入っているもの)
- をとらないように気をつけてください。尿の成分に影響が出て、結果が判定しにくくなります。

糖尿病教室

内分泌・糖尿病内科 糖尿病教室スタッフ 松田 昌文

糖尿病の診療で多くの方が受診されます。特に、はじめて健診で「血糖が高め」と指摘された方や他院より紹介され糖尿病と言われた方は、痛くもかゆくもないのに?と疑問を持たれます。単に「血糖が高め」ということと「糖尿病」は違っています。糖尿病と診断がまずされるかを外来で相談してみてください。放置できないほどの高血糖で放っておくと合併症の進展により失明、腎透析といった結果が惹起されます。そのようなレベルの高血糖であれば糖尿病と診断されます。診断された場合には、放置せず「糖尿病」と病名をつけて病気として管理が必要なのです。

血糖上昇はいろいろな原因があり「糖尿病」という同じ病名であっても原因や病状は同じではないことが多く、高血糖症候群とでもいう単独疾患でない病態です。そこで、まずよく糖尿病を知り、患者さんご自身に一番よいと考えられる介入をまず相談させていただきます。外来では時間的余裕もなく、在宅看護指導や管理栄養士さんによる栄養指導を予約します。

それでも、系統だってお話をするのは教育入院のような機会でないとなかなか難しい状況です。当院でも2週間のコースで教育入院を実施しております。一方で主に外来患者さんやそのご家族の方を対象として「糖尿病教室」を実施しています。日時や場所について院内掲示があるのを見られたことがあると思います。また、インターネットでも情報を随時更新しております。「埼玉医科大学総合医療センター」「糖尿病教室」という2つのキーワードをGoogleのような検索サイトに入力するとすぐに検索されます。また、埼玉医科大学総合医療センターの内分泌・糖尿病内科の患者さん向けのリンクからも閲覧を可能にしています。

糖尿病教室は毎週1回(火曜日10時)に2階の第1会議室か第2会議室で実施しています。どちらの会議室も隣合わせですので、エレベータで2階に上がっていただき、ガラスドアをあけていただくと案内があるはずです。1ヶ月で1コースとなっています。1週目は医師が担当、2週目は管理栄養士、3週目は看護師とリハビリ科スタッフ、4週目は薬剤師と臨床検査技師がお話をさせていただきます。予約の必要もありません。

受講は無料です。ただし駐車場料金をご負担ください。テキストは大学の医療センターということもあり将来医療スタッフとなる学生の教育も兼ねておりますので、お渡しする際にお名前をいただきますが、無料で配布しております。受講の際に学生も一緒にいることがよくありますのでご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センターのように地域の中核的な役割を果たす必要のある医療機関として、糖尿病教室を実施することは義務のようなものと考えられています。遠慮なく糖尿病教室を受講していただきますよう、ぜひお願いいたします。また、当院に通院されている必要もありません。ご家族の方でもOKです。

糖尿病診療を担当しているスタッフは医師のみではありません。実は糖尿病療養指導士という資格があります。当院では約40名のスタッフがこの資格を持っており熱心に糖尿病診療に当たっています。これだけの数のスタッフがこの資格を持っている施設はそれほど多くはなく、当院の糖尿病指導のレベルは一定の評価を得ておりますのでご安心し、糖尿病教室を受講してください。

ートピックス:リアルタイムCGMー

昨年の4月の保険改訂よりリアルタイムCGM (continuous glucose monitoring)が算定できるようになっていました。現時点での血糖値を見ることができるようになりました。遅れていましたが、やっと当院でも今年の4月から使用可能になりました。ただし持続インスリン皮下注入(CSII: continuous subcutaneous insulin infusion)器に附属している機器になりCSIIを行っている方のみの適用です。

それでも自分の血糖値がいつでも分かるというのは非常に興味があると考えます。しばらく臨床研究で保険適用のない方でも条件によっては使えるようにしております。当院にかかっておられる方で興味のある方は内分泌・糖尿病内科の主治医にご相談ください。またインスリンを用いている方でCSIIやCGMに興味のある方はぜひご相談ください。

平成27年 糖尿病教室

参加無料

日時: 下記の日程(火曜日) 午前10時より 1時間~1時間半

場所: 2階 第1会議室 または 第2会議室

予約は必要ありません。どなたでもお気軽にご参加ください。

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
第1週 糖尿病の基礎知識	7日	4日	1日	6日	休日	1日
第2週 食事療法	14日	11日	8日	13日	10日	8日
第3週 運動療法&日常生活の注意	21日	18日	15日	20日	17日	15日
第4週 薬物療法&検査について	28日	25日	休日	27日	24日	22日

血管撮影検査

中央放射線部



RT JOURNAL

放射線

2015

vol.4

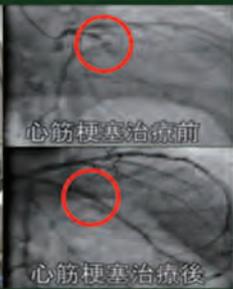
血管撮影検査

血管撮影検査は、足の付け根や肘の動脈に細い管(カテーテル)を挿入し、X線で血管をリアルタイムで見ながら、撮影や治療を行います。連続的にX線を使用するため、他の放射線検査と比べて、被ばく量が問題視されます。

当院では、2013年5月に県内で4施設目となる「被ばく線量低減推進施設」に認定され、線量の最適化と被ばく低減に努めて、日々の業務を施行しています。



血管撮影室



心筋梗塞治療前

心筋梗塞治療後



身近な放射線



大気

大気中には放射線物質が存在します。その代表例は、ラジウムです。しかし、その放射線量は、世界の地域によって異なります。

イラン・ブラジル・インド・中国等の放射線量が高く、日本の20倍近い地域もあります。これらの地域には鉱山や温泉があり、大地から大気中に放射線が放出しているため、放射線量が高いです。



食物

普段、私たちの食卓に並ぶ食物にも、身近な放射線があります。

(代表例 米・納豆・野菜・魚・果物等)

原因は、食物に含まれているカリウムの同位体に天然放射線元素カリウム40が存在するからです。

しかし、通常これらの食物を摂取しても、内部被ばく線量の限度には到底届く線量にはなりません。

また、日本の線量基準値は、国際基準よりも厳しい基準値を設定しています。

私たちが昔から食べている“Wasyoku(和食)”にも、極微量ながら放射線が存在することを少し知っていただけたら幸いです。

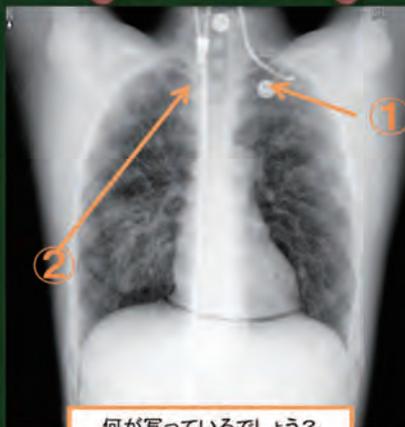
編集後記

Vol1~Vol4に渡って身近な放射線を掲載してきました。如何だったでしょうか？

普段意識していないとは思いますが、私たちの身の周りには常に放射線が存在している事を知っていただけたらと思います。

では次号もお楽しみに!!

クイズ



何が写っているでしょう？

埼玉医科大学総合医療センター 管理棟セレモニー開催について

事務部 施設課

【オープンセレモニー】

平成27年5月29日、約15ヶ月間の工期を無事に終え、埼玉医科大学総合医療センター管理棟が竣工の日を迎えました。7月10日には、川合善明川越市長・学校法人香川学園女子栄養大学香川芳子学長をお迎えし、学内関係者および、工事関係者の列席のもと、オープンセレモニーが開催されました。内覧会後にレストランへのメニュー提供に伴い、女子栄養大学との調印式が執り行われました。



オープンセレモニー



カフェ



ローソン

同日の午後、1階にカフェとローソンがオープンしました。



健康レストラン鴨田

7月21日にオープンした「健康レストラン鴨田」では女子栄養大学とコラボレーションした健康メニューが提供されます。

座席は全部で289席あり、車イスやベビーカー、お子様連れの方々にもご利用しやすい仕様になっております。また、天気の良い日にはテラスでも食事をお楽しみいただけます。来院された方々の憩いの場として是非ご利用ください。



テラス

2階～7階のスタッフエリアについては、各フロアに広い空間が設けられ、様々な部署が一堂に会して業務を行うことができるようになりました。今後もより一層、部署間の連携強化を図り、患者さんの満足度向上に努めてまいります。



管理棟

竣工：平成27年5月29日
鉄骨造 地上7階建て

2階～7階：スタッフエリア

3階：連絡通路

1階：レストラン・カフェ・ローソン

延べ床面積：7,987.46㎡

管理棟カフェテリアのご紹介

ウェルフェア

日頃より当社施設をご利用頂き誠にありがとうございます。

この度総合医療センター内管理棟新築並びに既存施設改修工事に伴い、当社業務委託施設でありました3階カフェテリアの営業を7月18日に終了すると共に、新設の管理棟1階に「健康レストラン鴨田」が7月17日にプレオープン、21日にはグランドオープンを迎えさせて頂きました。更には「キーズカフェ総合医療センター店」を7月10日より新規オープンを迎えさせて頂きました。

この度の「健康レストラン鴨田」の基本的なコンセプトは、消費者の皆様の健康に対する意識が高まる中、埼玉医科大学の職員・学生をはじめ大学病院に来院される患者様、そのご家族様に対し、安心・安全はもとより健康で美味しい食事を提供する事が第一と考えております。

また、今回の「食」に関する件につきましては、丸木清浩名誉理事長より、健康な食事の提供に関して高い評価と実績のある「女子栄養大学」と提携するようご指示があり、同大学より基本メニューの提供とご指導を頂き、当社のアレンジを加えた「女子栄養大学提供健康ラ

ンチ」並びに「健康小鉢」を平日2種類提供させて頂く事となりました。「健康ランチ」については、ご飯には「胚芽米」を使用し、1食当たりの基本カロリーを650kcal、塩分3gをコンセプトとしております。

また、大学病院ドクター・看護師のハードな勤務実態を受け、健康メニュー以外にもカロリー不足を補えるよう「スペシャルランチ」メニューの他、麺類、丼類等の定番メニューも取り揃えております。

「キーズカフェ総合医療センター店」は、キーコーヒー(株)とフランチャイズ契約を結び、軽食等どなたでも気軽にご利用できるメニュー構成とリラックスできる空間づくり、更には8つのK(高品質・健康・環境・快適・こだわり・価値・機能性・簡便性)のテーマに沿った事業活動を行なうことで、お客様に価値創造と満足を提供できるよう目指してまいります。

また、1階フロアに併設した「ローソン総合医療センター店」も7月10日に新規オープンを迎え24時間営業にてたくさんの皆様にご利用頂いております。

これからもご利用される皆様の「健康」をテーマに全社一丸となって取り組んでまいります。



健康レストラン鴨田全景



女子栄養大学提供 健康ランチ・小鉢



キーズカフェ総合医療センター店



ローソン総合医療センター店

駐車場の有料化について

総務課

埼玉医科大学総合医療センターでは、平成27年4月1日より、病院利用者以外の無断駐車や長期にわたる不適正駐車を規制し、外来患者さんが優先的に駐車できるよう、円滑な駐車場運営を目的として、以下のとおり駐車場を有料とさせていただきます。

ご利用の皆様には大変ご迷惑をお掛けしますが、何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

尚、院内駐車場については身体障害者専用とさせていただきます。また、入院患者さんの駐車場のご利用はお断りしております。ご理解・ご協力の程お願いいたします。

■来院者駐車場料金体系

外来患者さん	入庫から1時間無料	8時間まで 300円	駐車券を病院内にお持ちになり、必ず検印を受けてください。
一般の方（面会含） ※外来患者さん以外		以降30分ごと 150円	検印はございません。

■検印の受付時間・場所

対 象	受付時間	場 所
外来患者さん	8時30分～17時30分	1階 医務課会計窓口
	17時30分～ 8時30分	1階 警備員室

※入庫時にお取りいただいた駐車券をご呈示の上、検印を受けてください。

■駐車場地図



外来受診について

初めての方

- * 診療日 月曜～土曜
(日曜・祝日・年末年始を除く)
- * 診療受付時間 8:30 ～ 11:00
- * 診療時間 9:00 ～ 17:00

再来の方

- * 診療日 月曜～土曜
(日曜・祝日・年末年始を除く)
- * 診療受付時間 8:30 ～ 11:00
(予約の方を除く)

予約以外の11時以降の受付はありません。

初めての方、再来の方も午後まで診療を行ってありますが11時以降の受付はできません。(再来で予約のある方を除く) また、診療科や曜日によって受付できない場合もあります。

面会者へのお願い

- ・ 咳、熱などの症状ある方やお子様の面会はご遠慮ください。
- ・ 必ず病棟の看護師に面会の許可を得てください。

アクセス

電車

- 池袋より東武東上線・東京メトロ有楽町線30分
川越駅下車
- 西武新宿駅より西武新宿線60分
本川越駅下車
- 大宮駅よりJR埼京線20分
川越駅下車
- 大宮駅よりJR高崎線9分
上尾駅下車
- ※下車後、バスまたはタクシーでおいでください。

バス

- 川越駅東口より東武バス
(上尾駅西口・平方・埼玉医大・川越運動公園行き)
(25分)埼玉医大下車
- JR高崎線上尾駅西口より東武バス(川越駅行き)
(20分)埼玉医大下車
- 市内循環バス「川越シャトル」40系統 42系統 43系統

車

関越自動車道川越インターより8km、約15分
県道51号線(川越上尾線)沿い

保険証確認のお願い

当院では受診の際、毎回「保険証」の確認をさせていただいております。

その理由として、保険の資格喪失や有効期限切れが数多く発生し、保険者(会社・市町村等)に誤った請求をしてしまうからです。

会計受付時にファイルに入れてご提示ください。また、保険証を変更された際には速やかにお申し出ください。

ご協力の程、よろしくお申し上げます。



表紙写真：百万灯夏祭り

編集後記

連日猛暑日が続いておりますが室内でも十分な水分補給をして熱中症にお気を付けください。

7月25、26日に川越百万灯夏祭りが開催されました。この百万灯夏祭りの前身は百万灯提灯まつりと呼ばれ、川越城主松平大和守齊典侯の病没後、恩義に報いるために三田村家が嘉永3年の新盆に切子灯籠を玄関に掲げたことがきっかけで町中をあげて齊典侯の遺徳をしのび趣向をこらした提灯まつりとなったのが由来になります。当日は参加団体の素敵な演技・演奏、金魚すくい、お囃子、鉄砲隊の演武、昭和遊び体験や打ち水等が盛大に行われました。

打ち水は水が蒸発するときに熱を奪う気化熱を利用して気温を下げる暑さ対策です。効果的に打ち水をして寝苦しい夜を快適に過ごしてみるのもいいかもしれません。次号の発行は11月を予定しております。

編集員

埼玉医科大学総合医療センターニュース 第40号

- 発行年月日 平成27年8月31日
- 発行 埼玉医科大学総合医療センター
- 発行責任者 病院長 堤 晴彦
- 連絡先 医療センターニュース編集局(医務課内)
- 印刷 ヨーコー印刷(株)